

我が老を老とし、人の老に及ぼす

2009 Feb



社会福祉法人

ELDERS

vol. 35

年長者の里

URL : <http://nenchousha.com> E-mail : elders@nifty.com

発行者	芳賀 巖壽
編集者	笠井 理絵
住所	北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1 TEL (093) 652-3939 FAX (093) 652-3999



平成21年 仕事始め式

平成21年1月5日、年長者の里仕事始め式が例年通り行われました。

*理事長 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年には経済界では「大変な危機だ。覚悟の年だ」と言われております。昨年の正月には北九州は自動車生産150万台等、威勢のいい話題でスタートしました。しかし後半には、金融危機、車が売れない、雇用不安、全治三年の**経済危機**と、新年は気の重いスタートとなりましたが、昨年末には4人の日本人がノーベル賞を受賞し、嬉しく胸を張れる素晴らしいニュースにも恵まれました。

<麻生総理の誕生>

福岡県から麻生太郎総理大臣が誕生し、私共にはご縁も深く嬉しい限りであります。当年長者の里・大蔵園デイサービスセンターに、若い衆議院議員だった麻生代議士が揮毫された「自助而中庸」の額が昭和62年10月から掲示されています。

私は昨年11月27日総理大臣官邸で、麻生総理にお目にかかり、北九州市社会福祉協議会の会長として、困民のセーフティネットである「福祉と医療の充実」をお願いし、「ネバーギブアップ スマイル・スマイル」と激励して参りました。

世界不況の大変な時期ですが、麻生総理には本来の明るさで、前向きに頑張っ頂きたいものであります。政治評論家で毎日新聞OBの岩見隆夫氏が、「今に大化けするかもしれない?」と言っていましたので、私は大いに期待しています。

さて今回の経済危機に対応して、中小企業金融支援や公共事業の前倒し等への北橋市長指揮の下、北九州市の迅速で適切な取り組みは内容も充実し、賞賛に値するものでした。北橋市長のリーダーシップと行政の力を頼りにして参ります。**<パレス八幡(住宅型有料老人ホーム)とグループホーム大蔵 オープン>**

建設中のパレス八幡とグループホーム大蔵は、いよいよ3月1日オープン予定です。快適なホテル風に仕上がっています。ご利用者のウオントに出来るハードとソフトを期待しています。過去二度に



亘る介護報酬の切り下げでは随分苛められましたが、4月からは介護報酬が雀の涙ほどアップします。

皆さんの生きる力が集まっているのが職場であり、社会です。職員の皆さんの生きる力を年長者の里に頂きたい。人の役に立つ本物の仕事に力を惜しんではなりません。力を貸して下さい。

<耳・口・目>

ソフトバンクの名打撃コーチだった高島さんの感動のドラマ「フルスイング」が年末のNHKテレビで放映されました。「長所を伸ばすと短所はどんどん小さくなる。背伸びして頑張る続けることで



平成21年長者の里仕事始め式

キルが磨かれ、底力がつく。心のエネルギーが大きくなり、次へのチャレンジができる。」

名コーチ高島さんのモットーは、「大きな耳・小さな口・優しい目」の三つでした。耳は情報収集力・大が良い、災いは口から出て口から入る・小が良い、見守り・励ましの優しい目と申しました。耳・口・目の大切な三つをしっかりと教えられました。

「日々努力する・頑張ります」は当たり前、「努力し続ける・頑張る続けるが大切だ。」

<結 び>

福祉とは幸せを意味しますが、福祉はキツイ・汚い等**3K職場**と言われています。新年には やり甲斐がある、優しい心、ヤッターの達成感の**3Y職場**へ、「3Kから3Yへチェンジ」であります。“We can change.”で頑張らしましょう。

そして“Never give up. Smile & smile.”で嫌なムードを打ち破って参りましょう。各々の持ち場で日々精一杯頑張ります。変わらぬご支援を御願い申し上げ、ご挨拶と致します。

住宅型有料老人ホーム
パレス八幡

3月大蔵にオープン
入居者募集中!

◆ホテルのような居住環境◆充実した設備◆

◆お問い合わせ TEL 652-3939

- 居室
Aタイプ(一人部屋) 26.9㎡ : 56室 Bタイプ(二人部屋) 34.9㎡ : 16室
- 居室内設備
浴室・トイレ・ミニキッチン・洗濯機台・洗面所・冷暖房・緊急コール
- 共有スペース
レストラン(食堂)・カフェ・カラオケ・フィットネスルーム・大浴場・岩盤浴



- 入居及び利用に必要な費用
保証金 Aタイプ: 40万円 Bタイプ: 50万円
◎保証人は不要です
居室料 Aタイプ: 7万3千円 Bタイプ: 9万3千円
管理費 Aタイプ: 4万5千円 Bタイプ: 5万5千円
食費 お一人分 4万5千円 (光水熱費は実費必要)

- 入居資格
①満60歳以上で、健康で自立した生活を営んでいる方
②自炊は難しいが、その他の日常生活が可能である方 (ホームヘルプサービス等の在宅介護サービスを利用することで日常生活の維持が可能なる方も含む)



住まいの知恵(1) 白アリ

一級建築士事務所(株)シニアクラブ 所長 吉田 誠治



第一回目は白アリの問題について触れます。

白アリはいきなり、家屋に飛んで来るものではありません。

では、どこにやって来るのか?

■庭掃除して、積んだままにした落ち葉の山

■家に立てかけて、そのままになり長い間風雨にさらされたダンボール箱、木片

■植樹が根付くまでサポートする木杭。根付いてもそのままにして、地中の中で腐れた木杭。

■木のフェンス。地中に埋めたままとなり、地中の中で腐れた木の部分。

■立ち枯れた樹木をそのままにしておく

■アプローチ部分に埋め込まれたマクラ木。地中に埋められたまま

になっているマクラ木はジュクジュクに腐れ白アリの格好の餌食。白アリはこれらの物に、まず、飛んできます。そして家屋本体へと進みます。防蟻剤等の検討前に、上記の事が確実に無いように、白アリの招き寄せを撒き餌的存在の物を確実に無くしましょう。

次に白アリに嫌われるようにします。白アリが嫌いなものは

◎風通しが良い事

◎湿気が無い事

つまり、結露を防ぎ、室内はもちろん、構造体、床下、小屋裏に絶えず風の流れがある事が、白アリが生息できない状況です。防蟻剤が主役ではありません。

上記の状況をつくる事が大切で、防蟻剤はそのサポーターであるという認識をお持ち下さい。

わがまちの地域福祉と福祉経営 17

環境と経済は対立から両立へ ～環境産業の育成で雇用増大を～

西日本工業大学 工学部 環境建設学科 教授 皆川 重男



◆はじめに

経済の収縮は大きな社会的痛みを伴うことを指摘してきました。サブプライムに端を発した金融システムの崩壊は、企業への資金供給を困難にし実体経済へ波及、将来不安から需要の減少を招き、不況を促進しています。不況などの景気はいつか解消されますが、重要なのは心理「マインド」です。インフレは消費者を「宵越しの金は持たない」と一攫千金の夢へ走らせますし、デフレマインドは暗い痛みを伴う不安から買い控えと走らせます。

地方自治体の景気変動時の最大の仕事は市民・消費者の心理を安定させることにあります。行政があんなに頑張っているのだから、確かに安定した消費生活を送ろうと思ってもらふことなのです。安心の源は、地域経済の活性化であり環境産業による雇用の確保でないでしょうか。

◆環境首都を目指す北九州市

北九州市は、今でこそ緑の自然と澄み切った青空が広がる環境豊かな百万都市ですが、かつてこの街は、多くの工場が吐き出す「七色の煙」が街を覆っていました。洞海湾は分厚いヘドロに覆われ、一匹の魚も見つけることはできないほどだったのです。北九州市の環境は見事に蘇りました。その再生の過程での市民参加と意識変化、省エネ型産業技術の集積、リサイクル・リユース(再利用)の推進など先駆的な取組を行っています。しかし、環境産業の構築には未だ至っていないように思われます。

北九州市は、環境首都のグランドデザインの「基本理念」として「真の豊かさにあふれるまちを創り、未来の世代に引き継ぐ」を掲げ、実現のための柱として①共に生き②環境で経済を拓く③都市の持続可能性を高めるということを挙げています。

◆環境と企業活動

産業社会が発展していく過程で、経済優先から環境重視へ人々の意識は変化してきました。高度経済

成長期(1959~1970年)の公害問題や、1990年代以降の地球温暖化問題などを通じ、豊かで安心に暮らせる社会を実現するため、環境保全の重要性がますます認識されるようになってきました。国連では、日本が提唱した「持続可能な開発のための10年」が05年よりスタートし4年が経過、日本国内では多様な取り組みが展開されていますが、世界での取り組みは十分なものではありませんでした。しかし、オバマ大統領が、環境産業とインフラ整備で400万人の雇用を創出すると、国民に訴えたことで注目を浴びています。

かつては、環境(保全)と経済(収益性)は、対立する概念として捉えられました。環境を保全するコストは企業収益を減少させるという考えからです。しかし現在では、例えば、屋上緑化による暖房費の減少は設備費が多額になりそれだけではマイナスですが、環境保全によって得られる「将来のコスト圧縮効果」し、顧客のイメージを高めて売上に貢献するとして、百貨店・スーパーなどで設置されるようになりました。しかし、市内にはそのような施設は少なく、設置業者も限られています。

◆環境ビジネスの展開

環境への意識・社会状況の変化が、土壌浄化・屋上緑化など、環境保全や改良という新たな環境ビジネスの創出に結びつき、環境技術の進歩にも大きく貢献してきました。世界最先端の省エネ技術やハイブリット技術は、自動車メーカーの売上げ拡大にも寄与しており、「環境」と「経済」の両立を実現しています。

人々の意識も変化してきました。環境と経済の両者を結節するアイデアが重要になっています。環境保全の意識に基づいた起業家を社会起業家と呼んでいます。そんな社会起業家を、市内で育成したいと考えています。

脚光を浴びている「ウォームビズ」で、室内温度を下げ、省エネを実施しています。

ドクターよりひとこと 18

花粉症について

年長者の里 たつのおとしクリニック
耳鼻咽喉科 森尾 崇

春の息吹が感じられる季節になりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか?

しかし花粉症の方にとっては1年で一番つらい季節が到来したといえます。どうすれば症状が軽く、快適に過ごすことができるでしょうか?

花粉症の3大症状は水様性鼻汁、鼻閉、くしゃみといわれており、他に目の痒み、流涙などの眼症状を伴う方も多くおられます。昨年このような症状のあった方は是非クリニックを受診してください。

九州地区はスギ花粉の飛散開始時期が早く、1月から既に花粉は飛び始めています。花粉が僅かに飛び始めた時からでも、少しずつ症状が出始めています。花粉量の少ない時期から服薬を始める初期療法を行うと、花粉量の多い時期にも比較的軽い症状で済むといわれています。症状が軽くても毎日服薬を続けることが大切です。

「花粉症の薬はよく効くが、眠くなるので飲みたくない。」という人もなかにはいます。現在、多くの種類の薬が開発され、眠気のほとんどでない薬もありますので、御相談ください。どうしても薬はいやだといわれる方には、点鼻薬の使用や、通院による鼻処置、鼻ネブライザーなど他の治療ができます。手術やレーザー治療を希望される方は実施

施設へ御紹介します。

また、花粉の飛散量ですが、前年の夏の気候に大きく左右されます。スギは初夏から夏にかけて花芽をつくります。その時期が暑く、雨が少なく、日照時間が長いと、翌年花が多く咲き花粉の飛散量が多くなります。今年も昨年と同程度の花粉が飛ぶと予測されています。

花粉症対策で大事なことは、症状に気が付いたら、すぐに外出時にマスクをするなどの予防対策をとることです。現在、様々なタイプのマスクや花粉症グッズが薬局等で販売されています。治療と予防の基本は、とにかく花粉を吸い込まないことです。

スギ花粉は、よく晴れた風の強い温度の低い日ほどよく飛んでいます。また午前中によく飛ぶので、外出は午後にしたほうがよいです。

外出後、家に帰って屋内に入るときは、衣類の花粉を払い落とし、屋内に持ち込まないようにします。洗濯物や干した布団を取り込む際にも、忘れずに花粉をはらい落としたり、掃除機で吸い取るようにしてください。

花粉症患者は、全人口の10~20%ほどいるといわれ、今や国民病とまでいわれています。予防・治療に力を入れ、このつらい時期を元気に乗り切りましょう!

正寿園の俊足ランナー

スタッフである北津留巧さん(22歳)が、平成20年10月11日に行われた「第8回全国障害者スポーツ大会 チャレンジ!おおいだ大会」の陸上競技50m走 男子青年の部

に北九州市の代表として出場しました。記録は7秒39!!結果、堂々の第3位で銅メダルを獲得しました。

2008 年長者の里 ダイジェスト

夏だ！
祭りだ！

わっしょい百万夏まつり 百万踊りパレード参加



8月3日は、これも毎年恒例となりました「わっしょい百万踊り」へ、高福協(社団法人 高齢者福祉事業協会)の一員として里の職員から48名参加致しました。高福協としては370名の参加で、全参加団体の中で最も多い参加人数となりました。日頃の練習の成果を発揮して、踊りも「わっしょい」の掛け声も練習以上の出来となりました。緑の法被の行列は約100mの距離の絨毯のようになり、迫力一杯でした。受賞は残念ながら逃しま



したが、暑い中、踊り続けた参加者の汗はさわやかで、気持ちの良いものとなりました。

いきいき広場で大盛況—*地域との交流*

年長者の里 納涼祭2008

8月14日に毎年恒例の年長者の里納涼祭を開催致しました。例年通り、大蔵3丁目第一町内会(友澤町内会長)の盆踊り大会と併催行事で、今回で6回目を迎えました。フランクフルトにカレーライス、たこ焼きにかき氷、ゲームコーナー…行列もでき、出店も大いに賑わいました。盆踊りの音楽に合わせた春本さん(生活支援ハウス職員)の粋な太鼓の音色と共に、夏らしい浴衣姿の地域の皆様とご利用者様、またそのご家族、里の職員と輪になって踊って頂きました。また途中、北橋北九州市長夫妻も参加して頂き、盆踊りの会場を盛り上げて下さいました。夏の暑さに負けない熱い楽しい交流の場と



なりました。パレス八幡の建設工事の為、花火の打ち上げが出来ませんでしたが、特別ゲストに祇園太鼓「蔵」の方々にファイナルを盛り上げて頂きました。施設と地域の交流は、大切なことです。このような地域交流が毎年行えるのも、ご利用者様をはじめご家族、そして地域町内会の皆様のご協力とご理解のおかげでございます。この場をかりてお礼申し上げます。2009年も楽しい企画を考えたいと思いますので、ご期待下さい!!



大蔵ウエルクラブ活動 ~ふれあい訪問~

8月27日には、大蔵小学校から参加の11名、祝町小学校から参加の1名の大蔵ウエルクラブの子ども達が、年長者の里(大蔵園デイサービスセンター)へふれあい訪問に来てくれました。皆で練習してきた歌を2曲歌ってくれ、ご利用者様とコミュニケーションをとり、折り紙などを一緒に楽しませていました。ウエルクラブ活動とは次世代地域福祉活動者育成事業の一環として行われています。福祉のボランティアを体験することで、子ども達の成長に大いに役立つものだと思います。施設として、こういった場を設けることも、大切な法人の役目であると考えます。



その後、11月18日に、この活動の普及、紹介を踏まえた「次世代地域福祉活動者育成事業ウエルクラブ活動フォーラム」がウエルとばたで開催されました。このフォーラムのパネルディスカッションのパネリストに、活動を受け入れる施設としての立場を代表して、当法人より広報室長の笠井理絵が参加し、発表と意見交換を行って参りました。保護者代表のパネリストからは「活動が知られていなくて、参加者が少ないのが残念」であるなどの意見が挙がり、また当法人からは、「施設を地域と切り離すのではなく、地域の一員として積極的に地域の福祉活動へ貢献していきたい」という発言を挙げ、地域の様々な関係者、団体との連携、ネットワークを密にしていけることが大切であるということを確認したフォーラムとなりました。

NTTユーザ協会 電話対応コンクール

9月17日、大谷会館において電話対応コンクール北九州地区大会が行われました。

当法人からは、予選のテープ審査を通過した5名が出場し、全体では13社30名の方々が出場しました。コンクールでは、おもちゃ屋の店員として、電話での問い合わせに対する対応や店舗を尋ねられた際の道案内について等の競技が行われ、日頃の業務の中で培われた技術と練習の成果を競い合いました。結果は、当法人の局亮さん含め10名が福岡県大会に出場することになりました。その他出場した方々は、緊張感ある会場での雰囲気によって思うように力を発揮することができなかったといった声も聞きましたが、精一杯、里の代表として頑張ってくださいました。

また、10月10日に開催された福岡県大会では、各地区の激戦を勝ち抜いた44名の実力者ばかりの中、局さんも堂々とした対応を行いました。全国大会への枠は本大会から1名と険しく、残念ながらその思いは届きませんでした。しかしながら、北九州大会以上の緊迫した中で、局さんの対応は、優勝者にも決し

て引けをとらない程見事なものでした。北九州大会から福岡県大会まで出場された5名の方々、本当にお疲れ様でした。



コンクールに出場した方々(左から)
正寿園 藤瀬はるなさん
正寿園 村上秀子さん
在宅介護支援センター 局亮さん
ワーカーズ 野村真由美さん
本部 西平明奈さん



敬老の日 ボランティアさん ありがとう!

9月15日の敬老の日には、多くのボランティアの方々が年長者の里の様々な施設にて活動して下さいました。また、敬老の日のみならず、日頃よりボランティアの方々にはご支援、ご協力頂き、心より感謝申し上げます。



スチコンサート Autumn Afternoon Concert

9月21日には、たつのおとしごデイサービス主催で、プロの演奏家「楓雅(ふうが)」というグループの方に来て頂き、オータム・アフターヌーン・コンサートを大蔵園デイサービスにて行いました。多くのご利用者様とご家族で会場はあっと言う間に満席状態となりました。華やかな女性3名のグループの楓雅さんは、オリジナルの曲はもとより、ショパンのノクターンや葉加瀬太郎の情熱大陸など約45分も演奏を聞かせてくれました。

淡いピンクのドレスの楓雅さんと大蔵

園デイサービスのシックな雰囲気もマッチして、見惚れ、聴き惚れる演奏会となりました。楓雅さん、ありがとうございました。



平成20年度 介護支援専門員 合格者 おめでとうございます!

- ◆正寿園 DC 中村 朋子 作業療法士
- ◆ヘルパーステーション 池末 広美 サービス提供責任者
- 長岡 尚美

- 相原 裕子 サービス提供責任者
- 野村真由美
- ◆パレス穴生 木本 美香 介護職員
- 山崎 陽子
- ◆穴生DS 神里 薫 介護職員
- 竹島 薫 契約介護職員
- ◆八幡DS 湯浅 恵 介護職員 計10名

いきいき広場

— Let's enjoy life in elder's hometown —

サービス産業成功事例セミナー

北九州市産業経済局主催の「サービス産業成功事例セミナー」が平成20年11月26日小倉北区のAIMにて行われました。このセミナーの講師として、当法人の芳賀祥泰常務理事(株)エルダーサービス代表取締役



役社長)が招かれ、「これからの介護サービス」をテーマに講演を行いました。この企画は、～新しいビジネスのヒントを見つけよう



～というものです。北九州の雇用と市内総生産の7割以上は第3次産業いわゆるサービス業によるものであり、北九州市が市内を代表するサービス企業のトップを招き、その成功事例に学ぼうという参加者を募ったものです。芳賀常務の他に、田中亮一郎第一交通産業(株)社長、佐久間庸和(株)サンレー社長が招かれ、それぞれ講演を行いました。当日、会場は100名以上の参加者で満員となりました。

写真転用:ふくおか経済09.1

仁川広域市より国際交流研修

10月24日から10月31日の間、北九州市社会福祉協議会、北九州高齢者福祉事業協会と韓国仁川広域市社会福祉協議会との国際交流事業として、12名の福祉関係者の方々が研修に来られました。その中、10月27日から30日の4日間は、日本の施設での実習ということで、6名の方が当法人にて見学及び実習を行いました。実際に施設においての見学、芳賀常務理事より日本の高齢者福祉の現状や福祉マネジメントについての講義、その他、様々な日本の高齢者福祉の現場の生の声を一生懸命学んでおられました。日本と韓国の

現場の相違点など、お互いの意見交換にも繋がり、里の職員にとっても、大変有意義な研修となりました。



穴生便り②

防災訓練の実施と防災協定の締結 ～地域との連携で安全・安心な暮らしを～

昨年、11月13日、秋の火災予防運動に合わせて、八幡西消防署(坂田親志署長)の指導・協力を頂き、

パレス穴生及び穴生デイサービスにて防災訓練を実施致しました。また、訓練に先立ち、坂田署長立会のもと、



市立穴生学舎(田中弘實所長)との間で、「地域防災相互応援協定」を結びました。この日行われた避難・消火・救助訓練では、多数の署員・消防車両に出動して頂き、参加されたご入居者・ご利用者・ご家族の皆



さんも、訓練の様子を真剣に見つめていらっしゃいました。これを契機に、日頃から、防災意識の啓発につとめるとともに、穴生学舎や地域の皆さんとの連携・協力を、一層深めてゆきたいと思っております。最後に八幡西署員の皆さんをはじめ、ご参加頂いた多くの方々に、心から感謝申し上げます。

編集後記

皆様、前回の34号から少し時間がかりまして長らくお待たせしました。申し訳ありません。したがって今回の35号では、平成20年 里のダイジェスト版といった内容としました。昨年は、暖冬になると言われておりましたが、1月は寒い日が続き、雪の積もった日もございました。毎年ながら、風邪だけでなく、インフルエンザも流行し、世界金融危機と相まって、心身ともに底冷えするような冬となりました。ですから平成21年は元気いっぱい、笑顔いっぱいにしていきましょう。笑門来福! 本年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

(広報室長・秘書室長 笠井理絵)

～穴生から世界へ～

パレス穴生で看護師をしていた中原由美子さんが、今春 世界に向けて旅立ちます。中原さんは現在38歳で、ご主人と小学生のお嬢さんと3人暮らし。過去2度ほど、アフリカでNGO活動に携わってきたという経験を持っていらっしゃいます。専門は公衆衛生で、現在、長崎大学の大学院生として、同大熱帯医学研究所に在籍し、研究を続けてもられます。今年、4月より8か月間、ユニセ

フのインターンシップとして、研究所の活動拠点があるケニアのナイロビに、お嬢さんを連れて赴任されます。彼女は、英語、仏語に加えて、現地



ナイロビのスラムで活動していた当時の写真

の言語にも堪能な為、活動の場となるのは、多くの問題を抱えるソマリア国境地帯とのことです。今回は、現地からのレポートを楽しみに、中原さんの安全と、国際貢献への活躍を祈りたいと思います。



ケニアのナクル湖で娘さんの七海ちゃんと一緒に